

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 院庄林業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0013 岡山県津山市二宮22番地の1	
本票作成	部署名：本社 管理本部				
主たる業種	分類コード	12	業種名：木材・木製品製造業（家具を除く）		
事業の概要	木材製品 加工・製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県津山市くめ字団地50-1	
	②	久米製材工場		岡山県津山市くめ字団地50-68	
	③	プレカット工場		岡山県津山市神戸481	
	④	本社管理本部		岡山県津山市二宮22番地の1	
	⑤	建材センター		岡山県津山市神戸158-2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 1 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度(令和 4 年度)
	10,309 t CO ₂	9,283 t CO ₂	10,000 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	岡山工場	4,674 t CO ₂
	②	久米製材工場	3,057 t CO ₂
	③	プレカット工場	1,501 t CO ₂
	④	本社管理本部	34 t CO ₂
	⑤	建材センター	17 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 2 年度 ～ 令和 4 年度 (3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	4.2 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (久米工場 消費材積、プレカット工場 生産坪数、岡山工場 生産材積)、事務所 床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2) 年度	目標年度
		110.980 t CO ₂ /(m ³)	106.366 t CO ₂ /(m ³)	107.650 t CO ₂ /(m ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和2年度は削減目標を達成済み。前年度比でCO₂排出量が1000tCO₂と大きく削減できた。原単位でも前年度比4.0以上削減。
理由としては、岡山工場の効率化が大きく結果に反映した。詳細は下記。
①フォークリフトの運用の見直し、無駄な動線の見直しを行った結果、軽油の使用量が11kℓ削減。2台のフォークリフトの実機台数を削減した。
②19年に比べて、稼働時間を減らし時間当たりの生産量を上げる事が出来た。

【推進体制】

省エネ推進会議を月次で開催。各事業所での取り組み内容について意見交換を行い、年度初めの取組計画の実施進捗確認、計画妥当性を検証し取組を推進している。また、各事業所での取り組みで全社的に取り組める事項等あれば、本社管理本部でとりまとめを行い、導入コストの削減に努め、各事業所が取り組みやすい状況を作っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
久米製材工場	(令和2年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> 省エネタイプのモーターへ移行継続。 →15箇所を入れ替え済 予防保全の強化と製造精度工場による歩留まり改善。 (計画対実績の精度向上) →稼働率前年比1%向上(53%→54%)
プレカット工場	<ul style="list-style-type: none"> 省エネタイプの蛍光灯に移行(事務所) →移行完了
久米製材工場・岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> フォークリフト省エネタイプに移行継続 →令和2年度岡山工場1台、久米工場2台を入替済。
岡山工場 久米製材工場 プレカット工場 管理本部	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> 社用車を一台ガソリン車からPHV自動車に変更。 予防保全の強化と製造精度工場による歩留まり改善継続。 特定圧以上で動作を停止する、省エネタイプのコンプレッサーに交換。(第3工場) 携帯電話への転送を利用したシステムを採用し、卓上電話数を削減(21台→7台)する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	県産材製品の安定供給、県産木材の積極的活用と普及活動。岡山県産材サポーター
その他	有	合法木材、森林認証材、エコアースウッドの積極的販売

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・森林ツアーを開催。森林・木材の啓蒙活動を実施。